第8号

会報　めいおんの会

発　行　　平成25年11月30日
「めいおんの会」（名古屋音楽大学出身教員の会）
事務局　名古屋市緑区大清水四丁目522
TEL･FAX　(052) 877-1243
発行責任者　会長　百合草　薫

音楽の力を信じて

名古屋音楽大学名誉教授　大口　光子（前学長）

「めいおんの会」設立5周年おめでとうございます。平成21年８月の設立総会から、もう５年経ったのですね。39名の会員から発足した「めいおんの会」。今では名古屋市、愛知県、岐阜県、三重県と拡がり、90名に届くほどと伺いました。百合草会長を中心に着々と組織を整えて、充実した活動を進めておられること、誠にご立派です。すでに第7号まで発行された会報も拝見いたしました。5年足らずでここまで発展させられたことに敬意を表します。そして、微力ながら発足に関わらせていただいた一員として、大変嬉しく、心からお祝い申し上げます。

私は平成22年３月、名古屋音楽大学を退官いたしました。昭和44年から42年間、「めいおん」にお世話になりました。ちょうど、今年入会された方までは、どなたとも一緒に過ごしたことになります。会員名簿の中のお名前と卒業年次を拝見しておりますと、折々の「めいおん」の日々が懐かしく思い出され、感慨無量です。

先日、義務教育に携わる皆様の現状を知りたいと思い、「教師の資質」（諸富祥彦著）を読んでみました。私なりに少しは解っているつもりでしたが、厳しい環境の中、日々教壇に立たれる先生方のご苦労を察し、頭が下がる思いです。子どもたちの教育は、今の日本で最優先に考えるべき課題と痛切に感じました。

皆さんは、今年8月に松江市の教育委員会の出した「はだしのゲン」閲覧制限の一件をどのようにお考えでしょうか。終戦から68年、戦争を知る人が減ってきた今、世代によって受けとめ方に大きな差があることに、大変不安を感じます。子どもたちに、「原爆の恐ろしさを伝えたい！」と作者自身の被爆体験をもとにした作品を、残酷すぎるとか、誤った歴史観を与えるという理由で見せないようにする考え方は、あの戦争を体験した者にとって、許し難いことです。

東日本大震災のあと、日本人の考え方が変わってきたといわれています。会報によりますと、「めいおんの会」の先生の中で、戦災の復興を願って作られた「花の街」を取り上げ、大震災と重ね合わせた音楽の授業をされた方があると知り、大変心強く思いました。

音楽の力は無限です。天災は避けられない。でも戦争は人災です。避けられるものです。日本全土が壊滅し、300万人とも言われる死者を出したあの戦争を「次の世代へ必ず伝えなければ」と強く思います。

皆さんの音楽を愛する心と「めいおん」で培った音楽が、たくさんの教え子たちに何かを「感ずる力」と「想像する力」を芽生えさせてくれますように・・・・。

子どもたちの明るい未来のために、音楽の力を信じ、音楽とともにがんばっていってください。

最後に、皆様のご健康と「めいおんの会」のますますの発展を心からお祈り申し上げます。

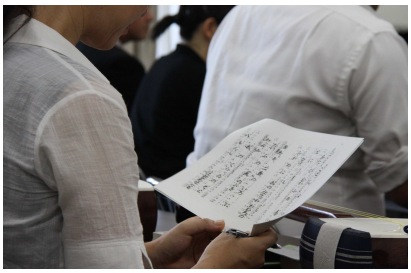
平成25年度　役員･参与･顧問　　*～よろしくお願いします～*

会長	百合草　薫（名古屋・東丘小トワイライト）	会計監査	八巻　景子（名古屋・中村小）
副会長	川合　恒之（名古屋・守山西中）	参与	髙橋　　肇（名音大・学長）
庶務	藤松　眞人（名古屋・名塚中）	同	水谷　榮子（名音大・音楽学部長）
同	塚嵜　崇史（名古屋・若葉中）	顧問	小泉　　孝（名音大・教職指導室）
会計	北村亜希子（名古屋・港南中）	同	浅田　邦穂（名音大・前教職指導室）

総会・研修会・懇親会　8月１８日（日）名古屋音楽大学　成徳館 1104 教室・学園食堂

総会では、会則に従い、会長の指名・役員の委嘱を行いました。昨年度の事業報告、決算報告並びに本年度の事業計画案、予算案が承認されました。

研修会は、「歌舞伎の華 長唄の魅力」と題して、名古屋音楽大学非常勤講師の杵屋六春先生を講師にお迎えして行いました。前半はお母様の杵屋六秋先生とお弟子さんの杵屋六秋葉先生（名音大卒業）も加わり、長唄「京鹿子娘道成寺」（抜粋）の演奏を聴くことができました。会場が講義室ということもあり、目の前で素晴らしい邦楽を鑑賞することができました。歯切れのよい細竿の三味線の演奏に、艶のある歌声が会場全体に響き渡り、長唄の魅力を十分に堪能することができました。



後半は、三人の先生方に教えていただきながら長唄と三味線の体験をすることができました。長唄は「松の緑」を教えていただきました。いわゆる口伝という方法で、先生の後について覚えていきます。数字や記号で表された譜面はあるのですが、微妙に変化する節回しがとても難しく、なかなかうまく唄うことができませんでした。それでも慣れるにしたがってコツをつかみ、長唄が身近になりました。

また、三味線は初心者と経験者に分かれ、「たこたこあがれ」を基本と替手との合奏をすることができました。懸命に演奏する参加者に「上手です」と励ましの言葉をいただきながら弾ききることができました。最後に先生から、「学校に出向いて邦楽のよさを伝える機会があれば喜んで伺います」とのありがたいお言葉もいただきました。

懇親会は、今年度も学園食堂で行い、講師をしていただいた先生方と学部長の水谷榮子先生、教職担当の柴田篤志先生にもご出席いただきました。今年も名古屋市を始め、東海三県各地からご参加いただき、恒例となった参加者全員による近況報告では、今抱えている悩みについて、ベテランの先生から意見やアドバイスを出していただけるなど、とても有意義な時間を過ごすことができました。今年は養護学校にお勤めの方や、特別支援学級を担当してみえる方もあり、大いに情報交換をすることができました。

学園食堂での和気あいあいとした雰囲気の懇親会

【編集後記】 本年度「めいおんの会」設立5周年に当たり、今号の巻頭言を発足時大変お世話になりました前学長大口光子先生に執筆していただきました。音楽を通して子どもたちに「感ずる力」「想像する力」が芽生えるよう、日々の指導を工夫していきたいものです。◆三味線・長唄の授業や芸術鑑賞に杵屋六春先生を招聘したい方は、事務局までご連絡ください。◆HPに資料等をアップしています。皆様からの資料提供をお待ちしています。（ゆ）